

# 北海道食品企業立地セミナー in 東京

魅力あふれる  
北海道へようこそ

全国耕地面積の1/4を占める食料供給基地「北海道」は、冷涼な気候を利用した大規模かつ先進的な農業経営により、良質な農産物の安定供給を続けています。

北海道ブランドに対するニーズがますます高まる今、北海道の「食」に国内外多くの関連企業が注目をしています。

本セミナーでは、有識者による講演や「北海道の食と農の新たな挑戦！」と題したトークセッションなどを通じ、北海道で動き出した「『食』の総合拠点づくり」をご紹介します。

日時：平成30年1月23日（火）

15:00～18:45（開場：14:30）

場所：ステーションコンファレンス万世橋

（東京都千代田区神田須田町1-25 JR 神田万世橋ビル）

【会場受付・交流会場：3階、セミナー会場：4階】

※当日は、3階会場受付にて受付後、4階セミナー会場にご移動願います。また、3階にクロークをご用意しております。



- ★JR秋葉原駅 電気街口より徒歩4分
- ☆銀座線 神田駅 6番出口より徒歩2分
- ☆千代田線 新御茶ノ水駅 A3出口より徒歩3分
- ☆丸の内線 淡路町駅 A3出口より徒歩3分
- ☆都営新宿線 小川町駅 A3出口より徒歩3分

## 第1部 (15:00～17:00)

### I 基調講演

#### 『「食」の総合拠点づくりを目指して』

中嶋 康博 氏（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）

### II トークセッション

#### 『北海道の食と農の新たな挑戦！』

コーディネーター：中嶋 康博 氏

パネリスト：林 美香子 氏（慶応義塾大学大学院SDM研究科 特任教授）  
根本 力 氏（敷島製パン株式会社 常務取締役執行役員）  
高橋 優 氏（きたみらい農業協同組合 常務理事）

### III 北海道のビジネスフィールドとしての可能性について

北海道

## 第2部 交流会 (17:15～18:45)

### ★試食やブースを見ていただきながらの情報交換

- 道産食材を使用した食のおもてなし
- 道内市町村による地元特産品や産業用地のPR
- 北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会による先端的研究・産業拠点のPRや新たな道産食素材の紹介 など



北海道は命名150年

入場無料  
定員100名

平成30年1月18日(木)  
申込み締切

※応募者多数の場合は  
先着順となります。

# Profile / プロフィール



## 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

なかしま やすひろ

### 中嶋 康博 氏

埼玉県出身。東京大学農学部卒業。同大学大学院農学系研究科博士課程修了（農学博士）。東京大学農学部助手、農学生命科学研究科助教授、准教授を経て、2012年から現職。専門は、農業経済学、フードシステム論。主な著書に、「食品安全問題の経済分析」、「食の安全と安心の経済学」、「食の経済」、「東アジアフードシステム圏の成立条件」。主な公職、食料・農業・農村政策審議会会長（農林水産省）、国土審議会北海道開発分科会特別委員（国土交通省）。



慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任教授 / 北海道大学大学院農学研究院 客員教授

はやし みかこ

### 林 美香子 氏

北海道札幌市出身。北海道大学農学部卒業後、札幌テレビ放送株式会社にアナウンサーとして入社。退社後はキャスターに。「農村と都市の共生による地域再生」の研究で北海道大学大学院にて博士（工学）を取得。現在、北洋銀行社外取締役、北海道田園委員会会長、国土審議会北海道開発分科会計画推進部会委員等を務める。著書に「農村へかけよう」、「農業・農村で幸せになろうよ」等がある。



敷島製パン株式会社 常務取締役執行役員 パスコイーストカンパニープレジデント

ねもと ちから

### 根本 力 氏

愛知県名古屋市出身。酪農学園大学卒業後、1979年敷島製パン(株)入社。開発本部マーケティング部長等を歴任し、2015年常務取締役執行役員 パスコイーストカンパニープレジデントに就任。「常識を覆す」という信念のもと、道産小麦を使ったパン作りプロジェクトのリーダーとして、「ゆめちから」を始めとする道産小麦を使用したパンの開発に携わる。さらに、平成30年6月には、JA道央と連携し、道産小麦100%のパンを製造・販売する複合商業施設「ゆめちからテラス（仮称）」を北海道江別市にオープンする。



きたみらい農業協同組合 常務理事

たかはし まさる

### 高橋 優 氏

北海道北見市出身。北海道農業協同組合学校卒業後、1985年に入職。営農、販売、購買、金融・共済部門と幅広い分野を歴任し、2013年常務理事に就任。同JAでは、玉ねぎ・じゃがいもを中心に麦・水稻・豆類や生乳など北海道農業の縮図とも言える多種類の農畜産物を生産。特に玉ねぎは全国一の生産量を誇る。さらに、全国一の産地としての社会的責任を果たすため、玉ねぎの通年出荷を目指す一方、「攻めの農協」として、極東ロシアへの輸出や加工による高付加価値化も積極的に進めている。

## [参加申込方法]

- 1 FAXでお申込みの場合は、参加申込書に必要事項を記載の上、下記番号へ送信してください  
**FAX : 011-736-5859**
- 2 E-Mailでお申込みの場合は、必要事項をメール本文に入力の上、下記アドレスへ送信してください  
**E-Mail : hkd-ky-richsemi@mlit.go.jp**

[お申込み、お問合せ先] 国土交通省北海道開発局開発監理部開発調査課 小林（有）、伊藤（Tel : 011-709-2311（内5445））

## 「北海道食品企業立地セミナー in 東京」参加申込書

会社名及び部署名

参加者（全員の役職・氏名をご記入願います）  
(代表者)

ご連絡先（代表者） 電話 / E-Mail